心臓ＣＴ検査を受ける方へ

心臓ＣＴとは、造影剤を使って心臓の血管（冠動脈）をＣＴで調べる検査です。

※造影剤には副作用が起こることがあります。

※造影剤は、以下の方は注意又は使用ができません。

以前造影剤を使用して副作用が出た方、喘息、薬や食べ物でアレルギーがある方

花粉症、アトピーがある方、心臓病、糖尿病薬・勃起不全改善薬服薬中の方、

肝臓・腎臓機能の働きが悪い方、甲状腺機能亢進症、骨髄腫など

① 検査時間になりましたら、和白病院の検査室にご案内します。

（救急や外来の患者様がいた場合、待ち時間が出ることがあります）

②右手に点滴をします。

③順番がきたら検査室に入ります。

ベッドに仰向けになり、両腕を挙げて心電図をつけます。

④舌の下に血管を広げる薬をスプレーします。

⑤点滴の横から少し造影剤を流し、テストをします。症状がなければ検査を続けます。

⑥血管を見やすくするため、心臓の動きをゆっくりにする薬を点滴の横から入れます。

以下の方には注意が必要になります。

心臓の病気、徐脈、喘息、糖尿病、過度の低血圧

⑦次に点滴の横から残りの造影剤を入れるので体がカーッと熱くなりますが、

一時的なものなので心配いりません。

⑧検査が終わったら、点滴を投与したまま健診クリニックへ戻ります。

⑨点滴は全量投与後に抜針します。

※造影剤で副作用が出た場合、液が血管から漏れた場合は、検査が中止になることがあります。

※撮影途中に心拍数が過度に増加した場合は、画像が乱れる可能性があり

正確な診断ができないことがあります